外国語科（英語）学習指導案

日　時　令和○年○月○日（○）
　　第５校時 13:30～14:20
学校名　中学校
対　象　第２学年
会　場　教室
授業者　○○　○○

１　単元名

Unit 7 “World Heritage Sites”　（*NEW HORIZON　English Course 2*）

２　単元の目標

世界遺産パンフレットを作成するために、各国の世界遺産について、その特徴や自分の考える魅力などを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　受け身の文の形・意味・用法を理解している。 ②　世界遺産の特徴や魅力、自分の考えなどの情報を整理して、まとまりよく文章を書く技能を身に付けている。	世界遺産パンフレットを作成するために、特徴や魅力、自分の考えなどの情報を整理して、まとまりよく書いている。	世界遺産パンフレットを作成するために、特徴や魅力、自分の考えなどの情報を整理して、まとまりよく書こうとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）の第２章　第９節　外国語、第２　英語　１　目標のうち、

> (5)　書くこと
> イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

を受けて、設定した。

また、２　内容〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項　　エ　文、文構造及び文法事項のうち、

> (ｳ)　文法事項
> ｊ　受け身

を取り扱う。

また、内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項のうち、

イ　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

さらに、内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項のうち、

①　言語活動に関する事項 カ　書くこと (ｳ)　日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。

を受けて、単元の目標を設定した。

⑵　生徒観

本校は、各学級単独で授業を行っている。本学級の多くの生徒の英語に対する興味・関心は高く、積極的に発言をしたり、言語活動に取り組んだりしている。毎回の授業で生徒が英語を話す場面を設け、英語でのやり取りでは、生徒同士が会話をする帯活動を行い、聞いて反応したり、質問するなど会話を続けたりする活動を継続的に行った。話す活動の際には、書く活動も取り入れ、英語を書くことに慣れさせる工夫をしているが、不慣れな生徒も多い。また、文章を多く書けばよいと考えている生徒も多く、文章構成などを意識せずに書いている様子が散見される。本単元を通して、文章の羅列ではなく、相手に世界遺産の特徴や魅力が伝わるように、序論―本論―結論などの文章構成を意識しながら一貫性のある文章を書くことができるようにする。

⑶　教材観

本単元は、世界遺産について紹介されている教材である。世界遺産には、自然遺産、文化遺産、複合遺産があることを知り、日本にも多くの世界遺産があることを知るきっかけにしたい。また、４人１組のグループになり国を決め、その国の興味をもった世界遺産について調べ、その特徴や魅力を相手に伝えるために世界遺産パンフレットを作成する活動を行う。単元の最終段階では、教科書を通して学習した表現を基に、次のような文をパンフレットで用いることを目標とする。

（例）the United States of America

The Statue of Liberty is a World Heritage Site in the United States of America. It's one of the most popular World Heritage Sites. It was listed in 1984. It's a cultural heritage site.

It's visited by many people around the world. It was gifted from France to celebrate the 100th anniversary of American Independence. It's 93 meters tall and it weighs 225 tons. It holds a torch in its right hand and the tablet of independence in its left hand. You can use the elevator to go up to the top and see the city of Manhattan.

It's a symbol of America. If you go to the United States, you should go there. I think you will be surprised to see it.

５　年間指導計画における位置付け

月	単元名	指導内容 （○言語材料　◇テーマ）	評価の領域
第1学期	Unit 0　My Spring Vacation	○　be 動詞の過去・過去進行形 ◇　春休みの思い出	「話すこと［発表］」
	Unit 1　A Trip to Singapore	○　未来表現、第４、５文型 ◇　シンガポール観光 ◇　夏休みの旅行計画	「話すこと［やり取り］」
	Let's Talk 1　ホテルでのトラブル	◇　海外のホテルでのトラブル	「話すこと［発表］」
	Grammar for Communication 1	○　５文型	（文構造）
	Let's Listen 1　機内放送	◇　フライトや現地の情報	「聞くこと」
	Unit 2　Food Travels around the World	○　接続詞 ◇　カレーの歴史	「書くこと」
	Let's Talk 2　ていねいなお願い	◇　写真撮影のお願い	「話すこと［やり取り］」
	Grammar for Communication 1	○　接続詞	（接続詞）
	Let's Listen 2　インタビュー	◇　看護師の仕事	「聞くこと」
	Unit 3　My Future Job	○　不定詞、It is…to＋動詞の原形~ ◇　職場体験	「話すこと［発表］」
第2学期	Let's Write 1　留守番電話のメッセージへの返信	◇　職場体験のレポート	「書くこと」
	Grammar for Communication 2	○　不定詞	（不定詞）
	Let's Read 1　History of Clocks	◇　時計の歴史	「読むこと」
	Let's Listen 3　天気予報	◇　天気、週の予定	「聞くこと」
	Unit 4　Homestay in the United States	○　助動詞、動名詞 ◇　家や学校の決まり、ホームステイ	「話すこと［やり取り］」
	Let's Write 2　ホームステイのお礼状	◇　ホームステイ先への感謝	「書くこと」
	Grammar for Communication 4	○　助動詞	（助動詞）
	Let's Listen 4　電車の進行情報	◇　運行情報	「聞くこと」
	Unit 5　Universal Design	○　疑問詞＋to～、形容詞＋that～ ◇　ユニバーサルデザイン	「話すこと［発表］」
	Let's Talk 3　電車の乗りかえ	◇　道案内	「話すこと［やり取り］」
	Let's Listen 5　留守番電話	◇　留守番電話	「聞くこと」
	Unit 6　Research Your Topic	○　比較	「読むこと」

		◇　映画　◇　テレビ番組、好きなこと等の発表	
第3学期	Let's Talk 4　買い物	◇　買い物	「話すこと」
	Grammar for Communication 5	○　比較	(比較表現)
	Let's Read 2　A Glass of Milk	◇　物語、英語劇	「読むこと」
	Let's Listen 6　商品のコマーシャル	◇　コマーシャル	「聞くこと」
	Unit 7　World Heritage Sites (本単元)	○　受け身 ◇　世界遺産	「書くこと」
	Let's Talk 5　電話でのやり取り	◇　週末の予定	「話すこと[やり取り]」
	Grammar for Communication 6	○　受け身	(受け身)
	Let's Listen 7　店内のアナウンス	◇　店内アナウンス	「聞くこと」
	Let's Read 3　Pictures and Our Beautiful Planet	◇　伝記、説明文	「読むこと」
通年	単元テスト		
	定期考査		
	パフォーマンステスト		

6　単元の指導計画と評価計画（全 10 時間）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準 (評価内容)
第1時	単元の目標を理解し、日本の世界遺産について紹介文を書くことができる。	○　単元の目標の理解 ○　題材の導入 ・　世界遺産について知っていることを共有する。 ○　世界遺産クイズ ・　日本の世界遺産に関するクイズを提示する。 ○　日本の世界遺産についてのライティング ・　興味をもった日本の世界遺産について調べ、簡単な紹介文を書く。	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。
第2時	Scene 1 を通して必要な情報を読み取り、世界遺産の種類を理解することができる。	○　前時の復習 ・　ペアで前時に行った紹介文を交換し、アドバイスや質問を行う。 ・　アドバイスを基に、紹介文に加筆、訂正を行う。 ○　Scene 1 の導入 ・　絵を使ってやり取りする。	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。

		・　新出語句の意味確認と発音練習 ○　内容理解と説明 ・　内容理解の問題に答える。 ・　音読練習を行う。 ○　受け身の理解 ・　スライドで説明をする。	
第３時 （本時）	Scene 2 を通して必要な情報を読み取り、世界遺産の特徴や魅力を書くことができる。	○　前時の復習 ・　第１時で紹介した日本の世界遺産はどの種類なのかを調べ、紹介文に情報を加筆し、ペアで伝え合う。 ○　Scene 2 の導入 ・　絵を使ってやり取りする ・　新出語句の意味確認と発音練習 ○　内容理解と説明 ・　内容理解の問題に答える。 ・　音読練習を行う。 ○　日本の世界遺産についてのライティング ・　第１時で紹介した世界遺産の特徴や魅力を調べ、紹介文に加筆する。 ・　ペアで紹介文を交換し、アドバイスや質問を行い、加筆訂正を行う。	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。
第４時	Read and Think 1 の概要を理解する。	○　前時の復習 ・　ブルーマウンテンについて口頭で Q&A を行う。 ○　Read and Think 1 の導入 ・　絵を使ってやり取りする ・　新出語句の意味確認と発音練習 ○　内容理解と説明 ・　内容理解の問題に答える。 ・　音読練習を行う。	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。
第５時	Read and Think 2 の概要を理解する。	○　前時の復習 ・　ベネチアについて Q&A を行う。 ○　Read and Think 2 の導入 ・　絵を使ってやり取りする ・　新出語句の意味確認と発音練習 ○　内容理解と説明 ・　内容理解の問題に答える。 ・　音読練習を行う。 ○　助動詞を伴う受け身の理解	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。

		・　メグの紹介文を通して新出文法の理解を深める。	
第６時	読み手を意識した文章を書くために、情報を収集する際や発信する際に大切なことを理解することができる。	○　前時の復習 ・　富士山について口頭で Q&A を行う。 ○　読み手を意識した文章を書くために大事なことを共有する。 ・　Read and Think 1, 2 を読み、具体的にどんな情報を収集していたかペアで話し合い、全体で共有する。 ・　Read and Think 1, 2 を読み、それぞれの世界遺産の魅力が感じられた部分をペアで話し合い、全体で共有する。 ・　文章を書く際の文章構成を気付かせる。	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。
第７時	世界遺産を紹介する文章をまとまりよく書くことができる。	○　前時の復習 ・　読み手を意識した文章を書くために大事なことを再確認する。 ○　原稿作成 ・　４人１組のグループで１つ国を決め、そこにある世界遺産を調べる。 ・　誰がどの遺産を書くかの分担を決め、１人ずつ世界遺産を調べ紹介する原稿を書く。	アー② （原稿、定期考査） イ （行動観察） ウ （行動観察）
第８時	世界遺産を紹介する文章を完成させ、パンフレット作成に向けて準備することができる。	○　原稿の作成 ・　作成した原稿をグループ内で読み合い、アドバイスを伝え合う。 ・　グループ内の友達からのアドバイスを基に、原稿を完成させる。 ○　パンフレット作成に向けての準備 ・　ICT 機器を使い、パンフレットに使う写真やイラストを準備し、文章をタブレット端末に打ち込む。 ・　グループ内で、それぞれが書いた文章や写真などの使い方についてアドバイスし合う。	アー② （原稿、定期考査） イ （行動観察） ウ （行動観察）
第９時	世界遺産パンフレットを読んで、感想や意見を伝えることができる。	○　世界遺産パンフレットを読み合う。 ・　ICT 機器を使い、他のグループが作成したパンフレットを読み、感想や意見を伝える。	イ （発表） ウ （発表、感想用紙）

		・　ICT 機器を使い、最も訪れたいと思った国と世界遺産を調査集計する。 ○　パンフレットの再検討 ・　他のグループからの感想、意見を確認し、文章に加筆、訂正を行う。	
第 10 時	単元の文法事項の総復習をし、理解することができる。	○　受け身の用法の理解 ・　問題演習を通して、今回の文法事項を整理する。	ア① （ワークシート）
後日	単元テスト、定期考査		ア①、②

7　指導に当たって

ア　自分が興味をもった世界遺産について調べ、特徴や魅力、自分の考えなどについて読み手を意識しながらまとまりの良い文章を書くことができるように、模範的な文を提示するなどして「主体的な学び」を促す。

イ　生徒同士が何度も書いた文章を読み合う機会を設け、互いにアドバイスを伝え、意見交換したことをよりよい文章に繋げることで、「対話的な学び」を行う。

ウ　教科書の本文を参考に、読み手を意識した文章はどのようなものかをペアで考えたり、全体で共有したりして、よりよい文章を書くことを目指すことで、「深い学び」につなげる。

8　本時（全 10 時間中の第３時）

⑴　本時の目標

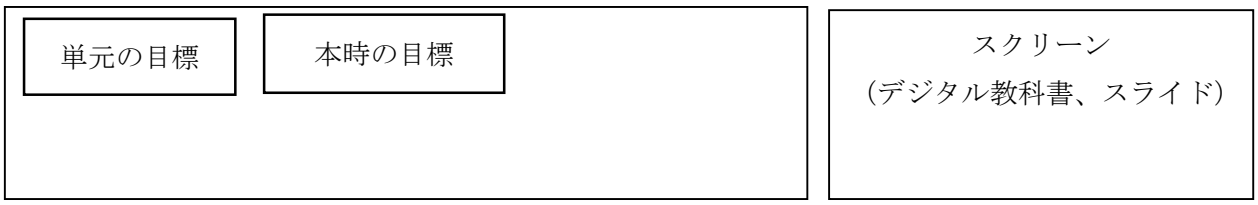
Scene 2 を通して必要な情報を読み取り、世界遺産の特徴や魅力を書くことができる。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 （３分）	○　挨拶	・　英語の授業の雰囲気を作る。	
展開① (20 分)	○　前時の復習を行う。 ・　世界遺産の種類について確認する。 ・　第１時で紹介した世界遺産はどの種類なのかを調べ、紹介文に加筆する。 ○　単元の目標と本時の目標を確認する。	・　数名に指名し、発表させる。	記録に残す評価は行わない。ただし、ワークシートなどから学習状況を必ず確認する。
	単元の目標：世界遺産パンフレットを作成するために、各国の世界遺産の魅力や特徴を調べ、自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。		
	本時の目標：Scene 2 を通して必要な情報を読み取り、世界遺産の特徴や魅力を書くことができる。		

	・　本時の目標をタブレット端末を用いて入力する。 ○　Scene 2 の内容理解 ・　ピクチャーカードを使いオーラルイントロダクションを聞く。 ・　新出語句の確認を行う。 ・　文章を読み、内容理解の問題に答える。 ・　音読練習を行う。	・　場面設定を伝える。 ・　世界遺産の特徴や魅力が表現されている文章に注目させる。	
展開② （22 分）	○　日本の世界遺産についてのライティング ・　Scene 2 で読み取った情報を参考に、第 1 時で紹介した日本の世界遺産の文章に、特徴や魅力調べて書き加える。 ・　隣のペアと書いた文章を共有し、アドバイスを伝え合い、自分の文章を再考し、加筆、訂正を行う。	・　中間評価を行い、全体で共有する。 ・　ワークシートを回収する。	
まとめ （5 分）	○　目標への到達度の確認 ・　タブレット端末に本時の振り返りを入力する。 ○　挨拶	・　目標を達成できたかを確認する。	

⑶　板書計画



⑷　授業観察の視点

ア　日本の世界遺産を紹介する文章についてペアで意見交換をすることで、生徒の「対話的な学び」につながる授業となっていたか。

イ　「書くこと」に焦点を当てた単元目標に向かった授業構成となっていたか。